



学生相談室だより

2020年度 第1号

2020年10月 東北医科薬科大学学生相談室

「われら真理の扉をひらかむ」 東北医科薬科大学の建学の精神です。

ひとつの扉を開くとまたつぎの扉がある。真理へのひとつの山を越せば、また別の山が見えてくる。事実が示すところに謙虚に心を澄まし、耳を傾け努力する必要があるとの意です。医学、薬学、生命科学を志す皆さんには是非とも、この建学精神を心に刻み、真理の探求に努めてほしいと思います。

薬学部の新入生の皆さん、いよいよ本格的な大学生活がスタートします！

皆さんは今、これから始まる新たな大学生活に希望と期待を膨らませていることでしょう。

医学部の新入生の皆さん、実習や試験でしか登校できていませんが後期のいいスタートは切れましたか？

キャンパスでは新たな出会いや発見、そして挑戦の機会がいくつもあると思います。これからの皆さんの大学生活が充実したものとなるよう心より願っています。

ただ、時にはこれまでとは違う学習・生活環境や人間関係に直面し、戸惑いや不安を抱くこともあるかもしれません。そんな時はひとりで悩まず「学生相談室」を訪ねてみてください。相談員が皆さんの戸惑いや不安を解消する糸口を見つけられます。どうぞ気軽に相談に来てください。

在校生の皆さん、薬学部ではようやく本格的な対面授業が再開します！医学部では実習や試験以外はなかなか大学に来る機会が持てていませんが、生活リズムは崩れていませんか？

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が長期化し、まだ出口の見えない状況にありますが、皆さんには是非とも、真理の探求に努め医療人としての能力と人格を高めてほしいと思います。今年度が更なる飛躍の年となるよう心から願っています。

もし、キャンパスでの生活に不安や悩みを抱いた時、また、カルト・悪徳商法（マルチ商法など）やネットなど学外でのトラブルに巻き込まれた時、「学生相談室」が皆さんの相談に応じます。内容は秘密厳守ですので、どうぞ気軽に安心して相談に来てください。

学生相談室長 米澤 章彦・河合 佳子

学生相談室の利用方法

1. 相談は予約制です。所属学部に関係なくどちらのキャンパスの相談室も利用できます。
2. 学生相談室の場所は、以下の通りです
小松島キャンパス：中央棟1階（自動発行機向かい側の部屋）
福 室キャンパス：第1教育研究棟1階
3. 相談日は各キャンパスで異なりますので相談担当表を確認してください。
小松島キャンパス：相談担当表の通り
福 室キャンパス：毎週月曜日の17時30分から18時30分まで
4. 相談時間は、ひとり30分以内です。
5. 相談申し込み方法
“申し込み用紙”に必要事項を記入し、各相談室付近にある“相談受付ボックス”に投函するか、メールに申し込み用紙を添付し、希望日の前の週の金曜日17時までに申し込みをしてください。
小松島キャンパス予約専用メールアドレス <k-soudan@tohoku-mpu.ac.jp>
福 室キャンパス予約専用メールアドレス <f-soudan@tohoku-mpu.ac.jp>
★Web 申し込みもできます★
「moodle <<https://moodle2.tohoku-mpu.ac.jp/moodle/login/index.php>>」
→ログイン（学籍番号・パスワード入力） → 「サイトホーム」 → 「すべてのコース」 → 「学生相談室」
6. 相談希望日・時間帯は必ず記入して下さい。希望日に面接ができないときのみ、連絡させていただきます。連絡がなければ、相談希望日時に相談可能ですので、学生相談室に来てください。



11月と12月の相談担当表

小松島キャンパス 14:00~15:00		福室キャンパス 17:30~18:30	
11月2日(月)	高橋 央宜	11月2日(月)	河合 佳子
4日(水)	森本 幸子	9日(月)	林 もゆる
10日(火)	川上 準子	16日(月)	中村 正帆
12日(木)	奥山 祐子	23日(月)	なし
16日(月)	宮坂 智充	30日(月)	上村 聡志
18日(水)	菅原 美佳	12月7日(月)	河合 佳子
24日(火)	蓬田 伸	14日(月)	林 もゆる
26日(木)	高橋 央宜	21日(月)	中村 正帆
30日(月)	蓬田 伸		
12月2日(水)	川上 準子		
8日(火)	奥山 祐子		
10日(木)	宮坂 智充		
14日(月)	菅原 美佳		
16日(水)	森本 幸子		



☆校務等の都合で、担当者が入れ替わる場合もあります。ご了承願います。

学生相談室ってどんなところ？

学生相談室とは、大学の中に設置された、皆さんの相談を受ける場所です。

といっても本学の場合、上記の相談担当表を見てわかるように、カウンセラーが相談を受けているわけではありません。相談担当者はみな、みなさんの授業を担当している教員です。しかし、教員だからこそ、大学生活での不安、国家試験受験前の苦しさを理解することができます。皆さんの話を聴き、助言を行うこともできるのです。教員としての視点から、そして時には人生の先輩としての視点から皆さんの話を聴き、相談にのっています。もちろん、より専門的な対応が必要な場合には、保健管理センターなどの他の部署を紹介することもあります。

学生生活を送る中で困ったことがあったら、ぜひ一度相談に来てみてください。

<よくある相談の例>

- 授業についていけない、学年が上がると勉強が難しくなるのではと心配
- 友達の輪に入れない
- 自分が心の病気なのではないかと感じる
- 親とのかかわりがうまくいかない
- 失恋して勉強が手につかない
- 悩みをどこに相談すればよいかわからない、など

